

# アムニス 閑西

# Omnis Kansai

未、才覚、算用)をもつて、大切にする大阪商人の知恵と、才能を活躍(しゃだつ)するための道筋(みちすじ)を紹介(あいせつ)してきた。たゞ、心学は本格的に触(ふれて)いたのは、精神的(じみょうてき)な最近(さいじん)といふところだ。正面(まへおもて)で勤勉(きんめん)、儉約(かんやく)、わきまえ、長期的な視野(ひやう)を志向(しむこう)する思想(しゅうしょく)、「何だかじいさんと同(おな)じ」と書(か)いていたると思(おも)ひましたよ。和田はバブル期以後(いご)、大阪の商業倫理(じぎょうりんり)が土古から崩(くず)れてしまったように感じ(うき)て、活動を通じてこそ力を発揮(はつき)してほしい」と語(ご)った。

# 商業倫理「築き直す」

中国の学生が関係へ  
「最近は美意識を持た  
自分の哲学を語れる経営  
が少なくなっている。伝  
していくにもっと関心  
持つべきだ」と指摘する  
関西経済同友会の代表  
事を務めたがんじフレーム  
記念会で講演する。病氣  
月、明誠舎の開講22周年  
親に代わって高校時代か  
家業の雑貨店を切り盛り  
し、その後山口から出でた  
の外食企業を育てた小嶋は  
は、若きときから「商売  
は何事も、と考え続けてい  
た。商業語などで心地よい  
触れていた小嶋は自分の  
験から「お客様に喜んで  
ただき、それによって商  
人が充足し、成長してい

（）と」と思つたといふ。  
「心理学が説いたのは、た  
くさん以前と思えることばかり。  
だが、普遍性があり、共有  
できる価値の大切さを説いて  
いたから、商人も豪傑も説き  
たのではないか」と明誠舎  
理事で京都大学大学院教授  
の辻本雅史は推測する。  
辻本の研究室には中国か  
ら留学生が多數来る。15年  
前は近代的な日本への関心の  
のが強かつたのにに対し、最近  
は近代化をえた道徳に關  
り心を持つ学生が増えてい  
る。「海外の方々が心を關注  
心を持つて」とエール。  
学園の長谷川も同調する。  
大阪を發展させた学びと  
きも教へば、時代を超えて広が  
る可能性を秘めている。

交友を続けているのが  
伝統河内宮頭繼承者の河  
内家菊水丸師匠(47)だ。  
1993年ごろ、師匠が  
ペーソナルディナーを務め  
るラジオ番組に呼ばれた  
のが出会ったきっかけだ  
った。  
てっきりラジオ局の人  
選かと思つたら、師匠が  
私の大阪万博の論文を語  
んで会いたがつたのだ  
と。万博当時は2人とも  
小学生。何度も会場に足  
を運んだ「万博博」も記憶  
すつかの意気投合した。  
行つたパビリオンや  
集めたスタンプ、バッジ  
など話は尽きなかつた。  
その後も仕事などで縁  
があり、約20年の付き合  
いになる。私は都市の感  
り場や遊園地などを研究  
するいわば「祭の研究

昔の大坂の絵はがきや写真、パンフレットなどを集めている。収集をテーマに対談をしたこともあった。  
「一緒に祭りを」上海で夢かなう  
2人とも、「いかに一緒に万博をやりたいね」と話していたが、今回の上海万博でようやく夢がかなつた。私は大阪館のプロデューサーを務め、師匠は7月28日の「なんわの日」のイベントで河内音頭を歌った。  
大阪への帰りが途中まで一緒に、またしても万博話に花咲いた。1912年は諸国国際博覽会、15年にはイタリア、ミラノ万博。20年の万博に中国・広州市が立候補する話もある。「万博は永遠ですね。また一緒にやう」と笑い合つた。



# 菊水丸師匠も万博少年

大阪府立大教授 橋爪 紳也さん



「一緒に祭りを」上海で夢かなう

昔の大坂の絵はがきや写真、パンフレットなどを集めている。収集をアマに対談をした」とも言つた。  
「二人でよく『いつか一緒に万博をやりたいね』と話していたが、今回の上海万博でようやく夢がかなつた。私は大坂館のプロデューサーを務め、師匠は7月28日の「なにわの日」のイベントで河内音頭を歌つた。  
大阪への帰りが途中まで一緒で、まだ少しも万博話をがんばつた。12年は韓国国際博覧会、15年にはイタリア・ミラノ万博。20年の万博に中国・広州市が立候補する話もある。「万博は永遠ですね。また一緒にやろう」と笑い合つた。

はがれ。しんじ  
0年  
大阪市で博士取扱。現職のほか大阪府特別顧問など。専門は建築史・都市文化論。

はないかと思つて、いま  
と長谷川。現在、エルク  
園は辰野から事務局を引き  
継ぎ、古文書以外の資料の  
保管も引き受けている。

いかに生きるか

理事会で和田透雲の和田亮介は船場商法の精神を著しく改良して、思っています」と語る。亮介は船場商法の精神を著しく改良して、作などを伝えてきたいとして知られる。「最後の船場商法」と呼ばれた創業者たる父に教わられた人生哲學などを「扇子商法」である船場商人の遺言にまとめたのが76年だ。

## 心学再興の輪、次代へ種火

る講釈などといふことは、さういふ點で、この「心明誠舎」(大阪市)は、21世紀を前に、活動休止寸前に至つてはいた。その後危機を脱し、現在は運営が軌道に乗りつつある。江戸時代か

## 苦難続きの歩み

▼45年の空襲で金庫を失、活動は中断した。その後、理事で近畿大学教授だった竹中靖一が自宅を事務局にし、住友グループなどの援助を受け、55年から

例 標榜した。公益法人の監督いました。が厳しくなる中、自宅で家族が担う事務局体制ではとても継続できないと……」。竹中の次女、中尾敦子は振り返る。大量の資料の保管

「辰野さんは関西人で、彼の言葉遣いは結構珍らしくて、よく笑わせます。でも、彼の言葉遣いが、なぜか僕にはとても馴染んで、よく理解できるんです。」

一先を立ち、我も  
ことに心を配り、信頼  
確に置いた商業網。これ  
ための学びではなく、  
根ざした美学重視の  
思想。「大阪人の心に迴  
る後少  
及人、  
の言わ  
うして

中尾  
一緒に仕事をした仲。話を  
大阪へ聞いて応接しますよと言いました。  
ました。大阪で専門学校へ  
へたった。死んでしまった。  
や予備校を展開するエール  
学園の理事長、長谷川憲一  
は、文部省へもてて、そのへんへ  
へたつては、振り返る。自身、心方に  
は教育や経営の両面から関  
心を持つていたという。  
精神

ーを開催して会員を増やす  
積極運営に出ていた。N.H.K.  
理事から協会に頼まれ  
て11年、大阪を詰めきりじ  
た堀井は歴史の蓄積を大阪  
へ強みを感じている。  
例えば、近世以降の大坂  
の「学びの系譜」は日本型

民の学び町の教

3

ーを開催して会員を増やす積極運営に出でている。NHK理事から協会に迎えられて11年、大阪を見詰めてき